

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要		平成17年度～		根拠法令・例規等	道路法
事業開始年度				担当課(室)	都市整備課
総合計画	大項目	基本目標	05	生活環境政策「快適・活力」	
計画	中項目	基本施策	08	快適な生活が送れるまち	
	小項目	施策	34	道路環境の整備	
事務事業名		06	道路維持管理事業		
				職・氏名	土木係長 大森 康晴
				電話	0869-64-1835
				このシート作成に要した時間	3.5 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	道路を通行する歩行者・自転車・二輪車・自動車	
目的(何のために)	安全で安心して円滑に道路を通行するために。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	道路維持管理の不備による事故発生を未然に防ぐ。	

事業の実績			Do
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	道路維持管理事業	既設の擁壁、道路側溝、舗装等が損傷して通行に支障が出た場合に修繕を行なう。	◎
	橋梁維持管理事業	橋梁が損傷して通行に支障が出た場合に修繕を行なう。	○

決算額	事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	事業費	直接事業費	千円	41,478	44,835	51,354
	必要人員	人件費	千円	0.77人	6,717	6,916
	事業費	千円	48,195	51,751	57,896	
	財源	国庫支出金	千円			10,988
	受	益者負担				
線	入	金				
市	債	債				
一	般	財	48,195	51,751	46,908	
受	益者負担	比率	%	-	-	-

結果指標	結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績					
	結果指標量		説明	維持修繕箇所数(工事請負費+需用費)							
	対	前	年	比	%	139	126	137			
	活	動	コ	ス	ト	円	49,533,000	51,751,000	57,896,000		
	単	位	当	た	り	コ	ス	ト	円	356,353	410,722

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
成果指標名	道路の維持管理の不備が原因となる事故発生件数	目標値(A)	0	0	0	0
		実績値(B)	0	0	0	到達目標値
		達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	毎年
成果指標設定の考え方・式や説明						
道路の維持管理の不備が原因となる事故発生件数						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い	
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い		

進行年度(H26年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
説明	限られた予算の中で、要望のあった修繕箇所を十分精査し、市道・市管理河川等ボランティア推進事業を行う団体と協議しながら、危険性・緊急性の高いものから実施していく。					

総合評価		総合評価
道路施設の老朽化が進んでいることから、事業量・事業費は増えている。このことから、修繕内容を十分精査し、市道・市管理河川等ボランティア推進事業を行う団体と協力しながら、安全・安心の観点から危険性・緊急性の高いものから実施していく必要がある。また、大規模修繕においては、道路ストック事業を活用し、財源を確保し実施していく。		総合評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止
		○				
取組目標	限られた予算の中で、危険性・緊急性の高いところから実施していく必要があるが、修繕箇所の早期発見、早期対応により、費用の縮減及び事故の発生を未然に防ぐことに努める。					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

Action